

■ D者 様

<p>ア) にぎわい交流ゾーンの候補機能・施設（案）に対する意見・要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎわい交流ゾーンを駅前とすべき。</li> <li>・にぎわい交流ゾーンが駅前であれば、寄ってみようという気持ちになる。住居にした場合はそれ以上の発展はないが、にぎわい交流ゾーンとすれば将来的にも発展の可能性がある。</li> <li>・駅前は大竹市の情報発信基地とすることが考えられるが、居住ゾーンにぽつんと情報発信基地があるのでは効果が低い。</li> <li>・商業施設は間口が重要。間口が狭くて奥行きが広い店舗（中学校跡地）は陳腐化する可能性が高い。</li> <li>・市役所の前に居住ゾーンがあれば子育て支援ゾーンが近く公園も近いので住民にとっては利用しやすいのではないか。</li> <li>・にぎわい交流ゾーンを新駅の前に作ることで、自慢できるまち作りができていくのではないか。</li> <li>・温浴需要は施設投資を考えると今後厳しくなると考えられる。大竹市からの要望である場合は検討する。</li> <li>・スポーツ施設は晴海臨海公園に近い方が良いと考える。</li> </ul>
<p>イ) 提案可能な民間事業について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設＋クリニック＋サービスモール。</li> <li>・市外からの流入客が見込める施設。</li> </ul>
<p>ウ) 地域への貢献に対する考え方について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコセンター（リサイクルできる資源を収集し資源のリサイクル活動を行う）活用。</li> <li>・地元農家と連携しながら販売を行っているので、地元産業にも貢献できるのではないか。</li> <li>・単独では100人程度の雇用、大規模商業施設なら300人程度の雇用を創出できる。</li> <li>・各行政と連携して防災支援協定を締結している。</li> <li>・店舗競争することで消費者の方は、いろんなメリットを享受できる。</li> </ul>
<p>エ) 本事業への参画意向</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参画意向あり。</li> </ul>
<p>オ) 事業参画にあたっての課題・条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎわい交流ゾーンは駅前とした方が良い。</li> <li>・現状のにぎわい交流ゾーン4,000坪程度では魅力的な施設作りは困難。中学校跡地全体7,000坪程度必要。</li> </ul>
<p>カ) その他（スケジュール、土地建物の所有形態等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020東京五輪前の施設オープンが好ましい。ある程度経済が発展している時期に行ったほうが良い。</li> <li>・事業方式は定期借地権、売買どちらでも良い。</li> </ul>